

一般県道 中間水巻線(遠賀・水巻・中間工区)
【改築系道路事業】

1.事業概要

1)路線の概要

一般県道中間水巻線は、一般県道中間引野線を起点とし、一般県道水巻芦屋線を終点とする幹線道路である。

2)事業の必要性

①本事業箇所が位置する遠賀・中間圏域と北九州市圏域との自動車交通は、大動脈である国道3号や並行する県道が重要な役割を担っている。しかし、遠賀川渡河部においては周辺道路の交通が集中して交通混雑が発生していることから、両圏域を連絡する交通機能が十分に発揮できていない状況である。そのため、周辺道路の交通及び整備状況を踏まえながら、圏域間のアクセス機能強化に資する広域道路ネットワークの整備が必要である。

②遠賀町では、JR遠賀川駅の新駅舎と交流センターを一体的に建設する「駅北周辺整備事業」や駅南での「区画整理事業」が進められており、また、水巻町ではJR東水巻駅周辺での再開発による新たなまちづくりが計画されている。両町は、これらの開発事業を地域振興の起爆剤として考えており、効果的にまちづくりを進めるため、都市計画道路である本道路の整備を県に対して強く望んでいる。

③本事業箇所周辺は、遠賀川渡河部が消防・救急活動や災害時の避難、救護・救助、物資輸送における経路になり得るが、現在、国道3号及び県道の渡河部には交通混雑が発生している状況である。緊急時、非常時において消防等が円滑に活動できる経路を確保し、地域住民の安全・安心の向上を図るため、新たな道路ネットワークの構築が必要である。

3)事業により期待される効果

①(交通機能の強化)

本事業の整備により、北九州市圏域への道路ネットワーク強化と交通円滑化が図られ、定時性の確保や人流・物流の効率化に寄与する。

【遠賀川駅南区画整理事業地区～北九州高速(黒崎IC)の所要時間:約6分短縮】

②(地域活性化の支援)

本事業の整備により、両町の開発拠点へのアクセス向上と地域間交流が促進されることによって、地域活性化への効果が期待される。

③(災害道路ネットワークの強化)

本事業の整備により、消防・救急活動や災害対応における安定的な道路ネットワークが機能し、地域の安全で安心できる生活環境が確保される。

2.現在の状況

現況交通量(車線数) 【遠賀川橋】55,493台/日(4車線)(大型車混入率10.2%)[R2.9実測]
【中間大橋】14,254台/日(2車線)(大型車混入率 8.2%)[R2.9実測]

3.計画内容

箇所名:福岡県遠賀郡遠賀町老良～福岡県中間市岩瀬西町
道路区分・設計速度:第3種第2級 V=50km/h
延長・幅員:L=3.1km W=6.5(14.5)m
全体事業費:C=9,870百万円
事業着手年度:令和5年度
事業完成予定年度:令和17年度
計画交通量(車線数):8,800台/日(2車線)[R22推計]
費用便益比(B/C):1.29

4.その他特記事項

陳情書・要望書:令和2年11月5日・令和3年10月25日・令和4年11月10日要望書 遠賀郡町長会から提出
令和2～5年度福岡県予算等に対する要望事項(自民党)遠賀支部・水巻・遠賀分会から提出
令和4年9月2日要望書 遠賀町長・水巻町長から提出

